

1. 若手研究者等の受入れと育成

(1) 科学技術特別研究員（日本学術振興会）

研究課題名（期 間）および概要	氏 名 （受け入れ研究員）
1) 労働者の覚醒度を高める睡眠健康対策とその効果判定に関する研究 （平成16年4月1日～18年3月31日） 概 要：労働者の覚醒度を向上させるための実際的な対策を探り、その効果を生理学的、心理学的、および行動学的に判定することを目的とする。	甲斐田幸佐 （高橋正也）

(2) 外国人特別研究員（日本学術振興会）

研究課題名（期 間）および概要	氏 名 （受け入れ研究員）
1) 看護婦の手腕部皮膚炎および筋骨格系障害に関する疫学調査（平成15年9月～17年9月） 概 要：介護従事者における手腕部の皮膚障害や筋骨格系障害の発生状態や発生要因を調査・解析して、増加しつつある介護労働者における健康障害の実態を把握する。	デレック スミス [Derek Smith] （王 瑞生）

(3) 大学からの研修生

研究課題名	氏 名（大学名） 受け入れ研究員
1) ダイオキシン類のヒト健康影響に関する調査研究	松本由紀，大川陽平 （北里大学） 小川康恭
2) 空気中の粒子のOC ECモニターによる分析	長野真弓（東海大学） 小野真理子
3) 労働者の心身状態評価技術に関する研究	鈴木綾子（早稲田大学） 原谷隆史
4) 分子生物学的手技の体得（平成16年8月24～30日）	小泉祐子，後藤俊文， 辻本芙美子，三浦 高 （麻布大学） 三浦伸彦
5) ばく露影響モニタリングへの利用を目的とした遺伝子発現のパターン解析（平成16年12月1日～17年3月31日）	三浦 高（麻布大学） 三浦伸彦
6) 産業化学物質の遺伝子影響評価	村上裕子（東京薬科大学） 小泉信滋

(4) 大学からの学外実習生

大 学 名	受け入れ研究員	受け入れ学生数
1) 東京大学医学部公衆衛生学学外実習	澤田晋一	2
2) 東京女子医科大学産業保健実習	神山宣彦, 他	8

2. 大学への支援（非常勤講師，講義・実習等）

(1) 非常勤講師（講義，実習等を含む）

名 称（担当講義実習名）	氏 名
1) 東京医科歯科大学（非常勤講師，医学部，分子腫瘍学）	三枝順三
2) 東京大学（非常勤講師，医学部医学科，公衆衛生学）	澤田晋一
3) 東京大学（非常勤講師，工学部）	北村文彦
4) 東京医科大学（客員講師，衛生学・公衆衛生学教室）	原谷隆史
5) 東京慈恵会医科大学（非常勤講師，医学部，環境保健医学）	小川康恭
6) 武蔵野大学（非常勤講師，人間関係学部，人間関係学科）	岩切一幸
7) 早稲田大学大学院（非常勤講師，文学研究科）	原谷隆史
8) 東邦大学（非常勤講師，医学部，公衆衛生学教室）	原谷隆史
9) 横浜市立大学（非常勤講師，医学部，動物実験センター）	三枝順三
10) 山梨大学（非常勤講師，医学部，看護学科）	原谷隆史
11) 名古屋大学（非常勤講師，医学部，ヤングリーダーズプログラム）	久永直見
12) 三重大学（非常勤講師，医学部，公衆衛生学）	荒記俊一
13) 三重大学（非常勤講師，医学部，公衆衛生学）	久永直見
14) 三重大学（非常勤講師，医学部医学科，公衆衛生学）	澤田晋一
15) 三重大学（非常勤講師，医学部）	北村文彦
16) 大阪大学（非常勤講師，医学部保健学科，環境医学）	平田 衛
17) 大阪市立大学院（非常勤講師，医学部，環境衛生学）	森永謙二
18) 産業医科大学（非常勤講師，産業保健学部）	神山宣彦
19) 中国浙江省医学科学院（客座教授）	森永謙二

(2) 非常勤講師以外（講義，実習等）

名 称（講義実習名）	氏 名
1) 東京大学（医学部，産業保健各論講義）	北村文彦
2) 女子栄養大学（栄養学部，職域保健学講義）	小川康恭
3) 帝京大学（医学部，視機能，生活習慣病，作業関連疾患講義）	鈴木 亮
4) 北里大学（医学部，視覚機能，目の生活習慣病講義）	鈴木 亮
5) 北里大学（理学部，化学物質の生体影響講義）	本間健資
6) 大阪大学（医学部，環境医学講義）	小川康恭
7) 広島大学（医学部，眼薬理学講義）	鈴木 亮
8) 東京医歯大（産業医研修講座）	鈴木 亮
9) 東京大学（医学部医学科，M2基礎配属実習）	澤田晋一
10) 東京大学（医学部，公衆衛生学実習）	北村文彦
11) 北里大学（医学部，屈折矯正，点眼法）	鈴木 亮
12) 広島大学（医学部，点眼方法，コスト）	鈴木 亮

(3) その他

名 称 (内容)	氏 名
1) 東京大学 (名誉教授)	荒記俊一
2) 東京大学 (医学科同窓会監事)	荒記俊一
3) 東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻 (客員研究員)	原谷隆史
4) 東京大学大学院医学系研究科 (客員研究員)	北村文彦
5) 東京大学医学部 (公衆衛生学教室 土曜セミナー講演)	澤田晋一
6) 東京大学大学院医学系研究科 (公衆衛生学教室 平成16年度第5回土曜セミナー「職業性ストレスの評価と対策」)	原谷隆史
7) 東京慈恵会医科大学 (セミナーで産業医学に関する情報の交換)	小川康恭
8) 早稲田大学大学院文学研究科 (修士論文審査「管理職者と非管理職者における慢性型業務関連負担に関する心理学的検討」)	原谷隆史

3. 行政・労働衛生機関等への支援および講師，講演等

(1) 行政への支援

- 1) 厚生労働省労働衛生専門官研修 (29人，講義と所内研究施設見学)
- 2) 労働安全衛生法によるGLP査察 (2人，6件)
- 3) 清掃従事者のダイオキシンばく露による健康影響に係る調査研究委員会による健康調査および事業所への報告 (6件)

(2) 労働衛生機関等への支援

名 称	氏 名
1) 中央労働災害防止協会 化学物質管理者研修講師連絡会議「化学品の分類と表示に関する世界調和 (GHS)」講師 (東京，大阪)(計2回)	宮川宗之
2) 中央労働災害防止協会 化学品の分類および表示に関する世界調和システム説明会「化学物質の分類」(東京，大阪)(計2回)	宮川宗之
3) 中央労働災害防止協会 心理相談専門研修「メンタルヘルスの基礎知識」	倉林るみい
4) 中央労働災害防止協会 東京労働安全衛生教育センター ダイオキシン類作業従事者特別教育インストラクターコース「ダイオキシンの特性と健康管理」	毛利一平
5) 中央労働災害防止協会 東京労働安全衛生教育センター 有機溶剤作業従事者インストラクターコース	平田 衛
6) 中央労働災害防止協会 じん肺研修「じん肺の診断と予防」	森永謙二
7) 中央労働災害防止協会 エルゴノミクス研修「世界の動向」	久永直見
8) 産業医学振興財団 平成16年度産業保健実践講習会「粉じん対策 (安全衛生法等) - 最近の動向と産業医の役割」	森永謙二
9) 厚生労働省 平成16年度第42回，43回じん肺診断技術研修「石綿肺」	森永謙二
10) 国際協力事業団 集団研修「産業医学」森永謙二	
11) 日本作業環境測定協会 作業環境測定士指定講習「鉱物性粉じん」(計2回)	明星敏彦
12) 日本作業環境測定協会 作業環境測定士登録講習指導員「共通」「粉じん」	芹田富美雄
13) 日本作業環境測定協会 作業環境測定士登録講習指導員「共通科目 - 相対濃度計」	篠原也寸志

- | | |
|--|-------|
| 14) 日本作業環境測定協会 作業環境測定士登録講習指導員「特化物 ガスクロ分析」「有機溶剤 ガスクロ分析」 | 小野真理子 |
| 15) 日本作業環境測定協会 作業環境測定士登録講習指導員「金属類」 | 鷹屋光俊 |
| 16) 産業健診事業部 所員研修「職場のメンタルヘルス」 | 倉林るみい |
| 17) 平成16年度人材活用戦略セミナー「職場の危機管理とメンタルヘルス対策」 | 原谷隆史 |
| 18) 国立国際医療センター 神経疾患「全身疾患と目」「神経眼科」「眼圧異常」、
神経内科と視機能、生活習慣病教室「コスト評価」「生活習慣病」「管理」
「目の健康相談」 | 鈴木 亮 |
| 19) 東京眼科集談会 「点眼薬」「糖尿病」 | 鈴木 亮 |
| 20) 神奈川産業保健推進センター 神奈川産業保健交流会・第30回研修会「産
業化学物質の遺伝子影響」 | 小泉信滋 |
| 21) 神奈川県眼科医会 「目の健康相談」(計3回) | 鈴木 亮 |
| 22) 三重県建設国民健康保険組合 平成16年度職業病闘争委員会「鉄骨を扱う
建設労働者の健康を守るための調査報告」 | 久保田 均 |
| 23) 町田市医師会 「目の保健」「眼再生医療」 | 鈴木 亮 |
| 24) 横浜市 「目の保健 糖尿病の眼底」 | 鈴木 亮 |
| 25) 川崎市 「目の愛護デー」 | 鈴木 亮 |
| 26) 川崎市医師会 「目の公衆衛生」 | 鈴木 亮 |
| 27) 日本労働衛生工学会 第1回日本労働衛生工学セミナー「有害性情報の伝
達 化学品の分類と表示に関する世界調和システム(GHS)」 | 宮川宗之 |
| 28) 近畿産業衛生学会 第9回近畿産業医部会研修会「石綿関連疾患と健康管
理」 | 森永謙二 |
| 29) 獨協医科大学 産業医講習会「中小企業における労働衛生管理 - 職場改善
を重点に」 | 平田 衛 |
-

(3) 研究成果の提供

- 1) 澤田晋一(2004年11月)第2回熱中症の発生防止に係わる調査研究委員会へ「欧米の政府レベルでのWBGT適用状況」についての最新情報を提供、「わが国にWBGTを導入するにあたっての諸課題」を提言。
 - 2) 澤田晋一(2004年11月)第2回熱中症の発生防止に係わる調査研究委員会へ「欧米の政府レベルでのWBGT適用状況」についての最新情報を提供、「わが国にWBGTを導入するにあたっての諸課題」を提言。
-

4. 海外協力

(1) 国際協力事業団 (JICA)

名 称 (内容)	氏 名
1) マレーシア国立労働安全衛生研究所機能向上計画のカウンターパート研修の受け入れ (重金属ばく露の生物学的モニタリング, 平成16年4月)	三枝順三, 神山宣彦
2) マレーシア国立労働安全衛生研究所機能向上計画のカウンターパート研修の受け入れ (振動ばく露評価と障害予防, 平成16年6~8月)	前田節雄
3) マレーシア国立労働安全衛生研究所機能向上計画のカウンターパート研修の受け入れ (労働衛生個人用保護具, 平成16年9月)	明星敏彦, 杉本光正
4) マレーシア国立労働安全衛生研究所機能向上計画のカウンターパート研修の受け入れ (健康保持増進, 平成17年1月)	岩崎健二, 久永直見
5) マレーシア国立労働安全衛生研究所機能向上計画のカウンターパート研修の受け入れ (騒音に対する労働衛生対策, 平成17年3月)	久永直見, 高橋幸雄

(2) その他

名 称 (内容)	氏 名
1) 国際協力事業団の労働衛生プロジェクトにおけるマレーシア医師会で基調講演「Occupational Vibration」	前田節雄
2) マレーシア国立労働安全衛生研究所におけるマレーシアの人体振動のガイドライン設定のための振動測定及びばく露実態把握のアンケート調査	前田節雄
3) シンガポール人材省労働衛生局との中小企業労働衛生に関する討議, 関係機関訪問, 現場見学	平田 衛, 高橋正也, 久永直見

5. 海外留学

名 称 (内容)	氏 名
1) ORISE Research Participation at the CDC, National Institute for Occupational Safety and Health, 米国シンシナチ市, 平成16年6月1日より2年間(予定)	中田光紀